

声 Voice

朝日新聞 2020年（令和2年）11月25日（水）

対応を変え認知症の祖母介護

大学生 豊島 恵

（奈良県 23）

大阪で叔母と暮らしている私の祖母は、数年前から認知症の症状が現れるようになった。叔母が仕事の日中は、祖母は家でひとりで過ごす。デイサービスへ行ってくれると安心なのだが、元々が出無精な性格でもあり、めったに足を向けてくれない。

今年になって、私が休みの日には、母が私たちの家へ連れて来て、一緒に過ごすようになった。私は、祖母と向き合う時間が増えたのがうれしい。

だが、当初は、祖母が同じ話を繰り返したり、家族のことがわからなかったりする様子に、戸惑い、寂しさを感じた。洗濯物をうまくたためないのを見て、つらく思うこともあった。

今は、何度も聞いた話でも毎回違うリアクションをしてみせたり、私を他人と思いついて合わせるのに合わせてその人になりきってみたりして、少しずつだが、介護を楽しめるようになっていく。祖母と2人で飼い犬の散歩に行ったり、ストレッチをしたりして、一緒にリラックスしている。

承認番号「20-4896」

※朝日新聞社に無断で転載することを禁じる。